

21世紀の国際経済をリードする 経営、会計のプロフェッショナルを養成

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 (Institute of Business and Accounting, IBA) では、本学のスクールモットーである「Mastery for Service(奉仕のための練達)」を体現し、これからの企業経営や日本社会に求められる高度な専門知識とグローバルな視点と国際社会で通用するスキル、そして高い倫理観を備えた、21世紀型の経営、会計のプロフェッショナルの養成をめざします。

Point1. MISSION

スクールモットー「Mastery for Service」に基づく、高い倫理観に支えられて、社会のために専門的な技能を提供する人材を養成

Point2. 理論と実践を学ぶカリキュラム

研究者教員・実務家教員による理論と実践のバランスに優れたカリキュラムを提供

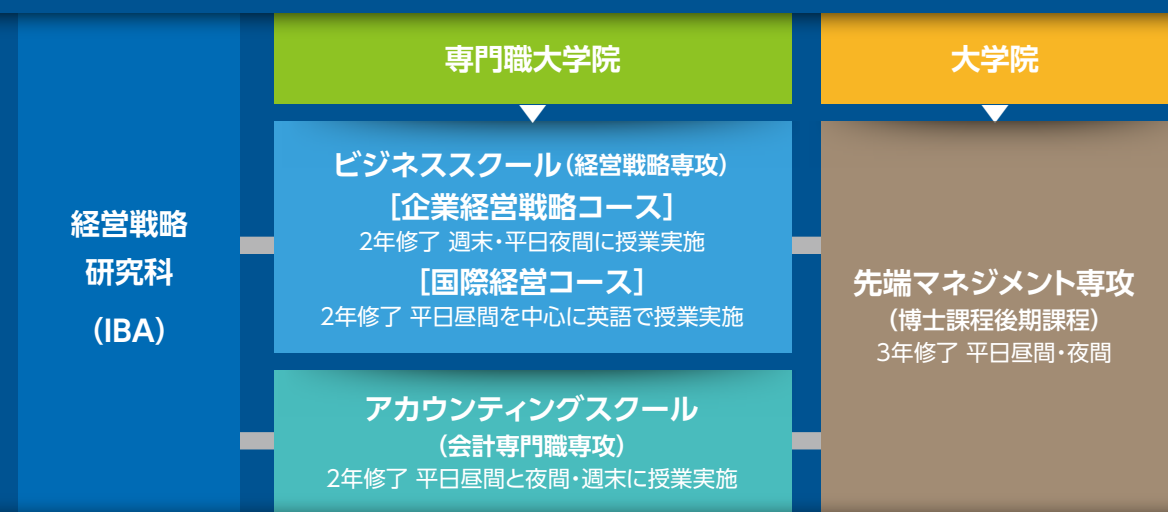
Point3. イノベーションと企業家精神醸成の場

異なる経験・価値観・文化をもつ学生・教員・修了生等とのコミュニケーションとネットワーキングの場

経営戦略についての実践的教育の場

～専門職大学院としてのプロフェッショナル教育～

専門職大学院では、「実務家教員」と呼ばれる専攻分野における実務経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する教員が教育に当たります。本研究科でも、経営戦略、ベンチャービジネス、監査業務、公会計をはじめとした多彩な領域での事例を取り扱う授業科目を実務家教員が担当しています。ただし、事例の研究も、理論に裏打ちされた知識や研究技法の修得がなければ単なる事例紹介にすぎません。学びを実践に生かすためには、知識を蓄積・整理するとともに基礎的な理論を踏まえてそれらを的確に理解することが必要です。本研究科では、優れた研究業績を持つ研究者教員と、高度な実務能力を持つ実務家教員が連携することにより、理論と実践の両方に秀でたプロフェッショナルに必要な教育内容を提供しています。



入試説明会にお越しください。

実際に授業を担当する教員が各専攻・プログラム等について説明を行います。また、入試制度や奨学金についても説明いたします。個別面談も行いますので、お気軽に足をお運びください。

入試説明会情報はこちら: <https://kwansei-ac.jp/admission/>

経営戦略研究科 🔍 検索



講座受講申込方法

受講申込はウェブサイトから行ってください。

申込は先着順(定員25名)で、申込期限は原則として各講座開始の2週間前までです。

1. 申込フォームに必要事項を入力して送信してください。
2. 自動返信により申込受付メールが届きます。
3. 申込日から3日以内に受講料を振り込んでください。
4. 講座開始の約1週間前に事務局から受講案内のメールをお送りします。

受講料振込について

受講料はいずれの講座も22,000円です。

講座開始1週間前以降、申込取りやめによる返金はいたしかねます。

2講座目以降受講の方への受講特典!

経営戦略講座、またはアカウンティング講座にて2講座目以降の受講料、2018年度に経営戦略講座、またはアカウンティング講座を受講された方の受講料は20,000円となります。

申込フォーム通信欄に以前に受講した講座名を記入してください。

※経営戦略講座を1講座、アカウンティング講座を1講座受講しても割引の対象とはなりません。それぞれの講座を2講座以上受講することが割引の条件となります。

●詳細はウェブサイトをご覧ください。

経営戦略講座 ▶ <https://kwansei-ac.jp/bs/seminar/>

アカウンティング講座 ▶ <https://kwansei-ac.jp/as/seminar/>



関西学院大学 大阪梅田キャンパス

阪急「梅田駅」茶屋町口改札口より、北へ徒歩5分
 大阪市北区茶屋町19-19
 アプローチタワー14階・10階
 TEL.06-6485-5611
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/

講座に関するお問い合わせは

関西学院大学経営戦略研究科事務局
TEL.0798-54-6572
 E-Mail: ibakouza@kwansei.ac.jp

【個人情報の取り扱いについて】本講座の申し込み時に、ご提供いただいた個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本講座運営と、社会に開かれた大学として関西学院大学が提供する公開講座などの教育プログラムのご案内にのみ利用させていただきます。



関西学院大学

専門職大学院 経営戦略研究科

ビジネス、アカウンティングスクールのエッセンスを
集中的に学ぶ研修プログラム

経営戦略講座

アカウンティング講座

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

Institute of
Business
and
Accounting



現代の社会で本当に役に立つ知識というのは、実務に役立つ知識とそれを活用するための技術の両輪が揃っている必要があります。また、その水準は日々高まっているとともに制度や規則の変化によって大きな影響を受けます。本講座は、関西学院大学経営戦略研究科が実際の授業で展開している内容をもとにして、そのエッセンスを研修プログラムとして提供するものです。交通至便な関西学院大学大阪梅田キャンパスにて開講します。ビジネススクールやアカウンティングスクールへの進学を検討されている方におすすめの講座です。

- 定員:各講座共25名
- 受講料:各講座共22,000円
- 会場:関西学院大学 大阪梅田キャンパス

経営戦略講座

1 自治体監査のための 監査論入門
5月14日～6月4日 [毎週火曜日/全4回]
19:00～21:30

地方自治法第150条が改正されて都道府県や政令指定都市では、内部統制の構築が義務付けられました。総務省からは監査標準のたたき台も公表され、本格的に「監査リスクアプローチ」が導入されます。自治体の監査は前例踏襲で、手続準拠性の監査と目されていました。監査意見や監査結果も、保証型ではなく指摘型で意見表明することが許されていました。しかし、首長が内部統制の状況を評価して作成する報告書も、監査委員が監査して議会で報告を行う段階においては、監査を指摘型で進めることは困難になっています。本講座を受講することで、自治体の内部統制や監査の関係者の多くが、従来とは異なる視点で実務に従事できるようになります。また、本講座の修了書を取得した受講者は、英国助計公共財務会計協会 (CIPFA) 日本支部が認定する「地方監査会計技術者」の資格認定申請が可能です。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 公認会計士の資格を持たない監査委員・自治体の監査委員事務局長職・民間企業の理財本部等で公認会計士等の監査対応を行っているビジネスマン・関西学院大学ビジネススクールの自治体・医療・大学プログラムへの進学を検討中の皆さん 等



- 5/14(火) 財務諸表監査の基本フレームワーク
- 5/21(火) 監査計画の立案と内部統制
- 5/28(火) 監査証拠と監査リスクアプローチ
- 6/4(火) 監査手続と監査報告

2 マーケティング 1
6月19日～7月10日 [毎週水曜日/全4回]
18:30～21:30

現代のマーケティング戦略は、セグメンテーションとターゲットリングを中心とした「選択と集中」戦略と、顧客とのリレーションシップを重視するリレーションシップ・マーケティングの二つの側面があります。この二つの戦略は決して相矛盾するものではなく、補完的な性格を持っています。本講座では、まずセグメンテーション、ターゲットリングからポジションングに至る道筋を平易に説明します。その後で顧客満足から顧客維持戦略に至る道筋を解説します。MBAの授業で行われる方法を利用してケース教材を使ったディスカッションを行います。

※「マーケティング2」と同じ内容です

- 【受講をおすすめしたい方】
- マーケティングに関して勉強したいと考えている初学者の方でコンパクトにその内容を理解したいと考えている方
 - ある程度マーケティングについては知識があるが、それらの知識の総合的な理解を深めたいと思っている方



- 6/19(水) マーケティングの役割
- 6/26(水) マーケティングの基本戦略
- 7/3(水) 顧客の好みと製品開発
- 7/10(水) リレーションシップ・マーケティング

Business Program

ビジネススクールのエッセンスを確実に効率的に学ぶ 短時間で専門知識・技術を修得する

3 経営戦略 1
7月12日～8月9日 [毎週金曜日/全4回]
18:30～21:30 ※7/19除く

経営戦略の重要性は理解しているのだが、横文字のカタカナばかりで分かりにくい。会計や販売といったスペシャリストとしての勉強には関心があるのだが、ゼネラリストとしての経営の総合的な勉強は範囲が広すぎてモチベーションが湧かない。経営戦略の勉強に、このように思っている方が多いのではないだろうか。本講義では、できる限り経営戦略を身近に感じることができるよう授業を行い、講義目的である経営戦略の「基本的な考え方を分析ツール」を、実際の企業のストーリーをまとめたケースを使用して、等身大のレベルで自由に使いこなせるようにしたいと思っています。

※「経営戦略2」と同じ内容です

- 【受講をおすすめしたい方】
- 経営戦略に関するベーシックな知識を得たいと考えている方
 - 経営戦略の理論を実践に適用するスキルを養いたい方
 - 今後、経営戦略の立案、策定、実行に携わりたいと考えている方
 - ビジネススクールへの入学を考えている方

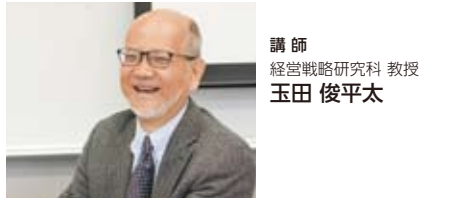


- 7/12(金) 経営戦略とは何か?
- 7/26(金) 競争戦略と経営戦略の関係
- 8/2(金) 経営戦略の基礎としての経営資源
- 8/9(金) 経営戦略の総合ケースの分析

4 イノベーション・マネジメント
7月31日～9月4日 [毎週水曜日/全4回]
18:30～21:30 ※8/14・21除く

多くの企業がイノベーションを自社のスローガンにしています。なぜでしょう? それは、企業は①イノベーションによって競争優位を獲得でき、②イノベーションによって周辺環境の変化にも対応することができからです。しかし、この多くの企業が目指す「イノベーション」ですが、「それではイノベーションとはどういう意味ですか?」と尋ねると、「人によって答えはまちまちで、イノベーション(発明)との区別もあいまいな場合が多いようです。また、業界トップクラスのある優良企業であっても、ある種類のイノベーションには打ち負かされ減らしてしまうことがあります。このようなタイプのイノベーションは「ディストラティブ(破壊的)・イノベーション」と呼ばれ、近年、注目を集めています。そこで、本講義ではイノベーションとは何か、破壊的イノベーションを通じて企業の競争優位を構築するにはどのようにすれば良いか、などについて理解を深めます。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 企業のトップマネジメント(CEOやCTO)を目指す方
 - 技術を競争優位に変えるやり方を学ぼう
 - 技術を通じたベンチャーを目指す方

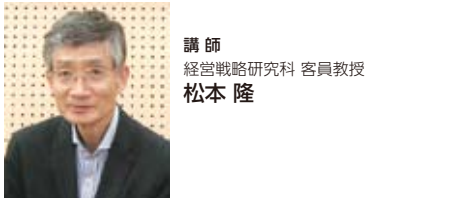


- 7/31(水) イノベーションとは何か?
- 8/7(水) イノベーターのジレンマ-技術革新が巨大企業を滅ぼすとき(1)
- 8/28(水) イノベーターのジレンマ-技術革新が巨大企業を滅ぼすとき(2)
- 9/4(水) 技術を競争優位に変えるには

5 問題解決図解演習
8月31日(土)・9月7日(土) [2日間/全4回]
10:30～12:00/13:00～17:30

現代は、ビッグデータ、AI、IoTの時代だと言われており、ロボットが進化する人間に残された仕事は「考える」ことだけになるかもしれない。さらに最近は、取り組むべき問題が複雑で関係者が多くなっている。ものごとを「俯瞰的に、かつ多角的に考える」とともに「可視化(いわゆる「見える化」)」することが必要です。そのようなニーズを満たすのに、数値化されない「言語データ」を「図形的に構造化」する図形(図解)思考法によって、「混沌の解明と未来洞察」を図ることが求められています。このような視点で、「言語データ」を扱い、新たな発想と解決策を得る手法を、グループ演習主体で分かりやすく実践的に学びます。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 企業(総局)内で、問題解決、特に企画・企画業務を充実・発展させたいと考えている方
 - 営業部門、企画管理部門、研究開発部門等に所属している方



- 8/31(土) 10:30～12:00 問題、グループ演習1と発表
- 9/7(土) 13:00～17:30 グループ演習2と発表、総合質疑
- 9/7(土) 10:30～12:00 グループ演習3と発表
- 13:00～17:30 他の手法の紹介、手法の組み合わせ方、今後の展望(個人演習)

6 アントレプレナーシップ ～新規事業開発演習～
10月10日～31日 [毎週木曜日/全4回]
18:30～21:30

アントレプレナーシップ(起業家活動)、イノベーション、新規事業の創成をキーワードに、ビジネスプランの作成演習を行います。ビジネスアイデアの創出、事業機会を捉えたビジネスモデルの構築、業界構造(競争環境)の把握、マーケティングミックスの構築、リスク分析、損益計算書の作成などを行い、最終日には様々なステークホルダーを想定した実践的なプレゼンテーションを行っていただきます。その後で顧客満足から顧客維持戦略に至る道筋を解説します。MBAの授業で行われる方法を利用してケース教材を使ったディスカッションを行います。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 新たに独立起業を考えている方
 - 会社で新規事業・プロジェクトを企画・立案・推進される方
 - 中小企業の経営革新(新規事業開発)を担う方



- 10/10(木) 起業家活動の意義とプロセス
- 10/17(木) ビジネスモデル構築
- 10/24(木) ビジネスプラン構築(資金調達と財務)
- 10/31(木) プレゼンテーション実習

7 マーケティング 2
10月25日～11月15日 [毎週金曜日/全4回]
18:30～21:30

現代のマーケティング戦略は、セグメンテーションとターゲットリングを中心とした「選択と集中」戦略と、顧客とのリレーションシップを重視するリレーションシップ・マーケティングの二つの側面があります。この二つの戦略は決して相矛盾するものではなく、補完的な性格を持っています。本講座では、まずセグメンテーション、ターゲットリングからポジションングに至る道筋を平易に説明します。その後で顧客満足から顧客維持戦略に至る道筋を解説します。MBAの授業で行われる方法を利用してケース教材を使ったディスカッションを行います。

※「マーケティング1」と同じ内容です

- 【受講をおすすめしたい方】
- マーケティングに関して勉強したいと考えている初学者の方でコンパクトにその内容を理解したいと考えている方
 - ある程度マーケティングについては知識があるが、それらの知識の総合的な理解を深めたいと思っている方



- 10/25(金) マーケティングの役割
- 11/1(金) マーケティングの基本戦略
- 11/8(金) 顧客の好みと製品開発
- 11/15(金) リレーションシップ・マーケティング

8 経営戦略 2
11月16日～12月14日 [毎週土曜日/全4回]
13:00～16:00

経営戦略の重要性は理解しているのだが、横文字のカタカナばかりで分かりにくい。会計や販売といったスペシャリストとしての勉強には関心があるのだが、ゼネラリストとしての経営の総合的な勉強は範囲が広すぎてモチベーションが湧かない。経営戦略の勉強に、このように思っている方が多いのではないだろうか。本講義では、できる限り経営戦略を身近に感じることができるよう授業を行い、講義目的である経営戦略の「基本的な考え方を分析ツール」を、実際の企業のストーリーをまとめたケースを使用して、等身大のレベルで自由に使いこなせるようにしたいと思っています。

※「経営戦略1」と同じ内容です

- 【受講をおすすめしたい方】
- 経営戦略に関するベーシックな知識を得たいと考えている方
 - 経営戦略の理論を実践に適用するスキルを養いたい方
 - 今後、経営戦略の立案、策定、実行に携わりたいと考えている方
 - ビジネススクールへの入学を考えている方



- 11/16(土) 経営戦略とは何か?
- 11/23(土・祝) 競争戦略と経営戦略の関係
- 12/7(土) 経営戦略の基礎としての経営資源
- 12/14(土) 経営戦略の総合ケースの分析

アカウンティング講座

1 社会人のための コストマネジメントのエッセンス
4月14日(日)・4月21日(日) [2日間]
12:15～14:45/15:00～17:30

健全な企業経営のためには、コストを適切に計画・管理すること、つまりコストマネジメントが非常に重要です。これまで、企業実務において実に多くのコストマネジメント方法が提案・実施され、効果を上げてきました。しかし、これらのコストマネジメント方法は、どの企業でもそれを実行すれば必ず効果があるというものではありません。なぜなら、企業が販売している製品・サービスの特性や、企業の組織形態などにより、有効なコストマネジメント方法は異なるからです。不適当なコストマネジメント手法の利用はほとんど成果を見込めず、運用コストばかりかかる結果となりがちです。そこで本講座では、コストマネジメントの代表的な方法について、基本的な考え方や計算方法だけでなく、有効に機能する状況や実施する際の課題点、などについても解説します。

2 地方公会計の基本と実践
4月24日(水)・4月25日(木) [2日間]
10:30～13:00/14:00～16:30

地方自治体においては、2016(平成28)年度の決算から、「統一の基準」による財務諸表が開示されています。そして、同基準の導入に際しては、複式簿記の導入、固定資産台帳の整備が必要となっています。この講座では、制度が大きく変わった時期に、会計の初学者や地方公会計改革の初任者を対象として、公会計についての基礎を詳しく解説します。その上で、貸借対照表、行政コスト計算書などの財務書類の読み方と分析の方法を解説します。また、現在、各自治体で取り組まれている財務書類の活用方法についても紹介いたします。さらに、公会計改革の理解と並行して、地方自治体の制度会計の理解を深めることも目的としています。地方交付税制度、地方税制度を中心に、決算カードなどの書類の見方、財政分析の手法なども解説していきます。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 経営管理に関する基本的な知識を身につけたい方
 - コストマネジメントの理論を実務で応用したい方
 - アカウンティングスクールへの入学を考えている方



- 4/14(日) 伝統的原価計算
- 4/14(日) ABC(活動基準原価計算)
- 4/21(日) CVP分析と原価予測
- 4/21(日) 様々なコストマネジメント手法

3 企業の各種報告書を読む ー制度開示のあらましー
5月19日～6月30日 [毎週日曜日/全4回]
12:15～14:45 ※6/9・16除く

株式会社は、各種の利害関係者に対して制度上多くの報告書を作成し公表しています。おおよその会計知識を習得したら、これらの報告書から企業の状況に注目してみよう。本講座では、連結財務諸表を用いた収益性分析に役立つ、有価証券報告書や株主総会の開示資料等の記載のあらましを講述し、事例を用いて各種報告書の記載内容から企業情報の実践的な読み方を学習します。講座では、特徴的な会計処理や収益性の財務分析指標等の復習を交えるなどして、会計初学者でも事例会社の有価証券報告書等を参照できるように解説します。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 英語で簿記を勉強したいと考えている初学者の方でコンパクトにその内容を理解したいと考えている方
 - ある程度簿記については知識があるが、それらの知識を英語で理解を深めたいと思っている方
 - 企業(株式会社)の知識や理解を深めたいと思っている方



- 5/19(日) 有価証券報告書のあらまし
- 6/2(日) 株主総会招集通知と事業報告のあらまし
- 6/23(日) 連結資産と売上原価の会計処理、精算表と連結仕訳、財務諸表
- 6/30(日) コーポレートガバナンス報告書のあらまし

Accounting Program

週末や分析中心に開講 アカウンティングスクールへの入学を考えている方にも最適

4 英文簿記の基礎
6月2日～6月30日 [毎週日曜日/全4回]
15:00～17:30 ※6/9除く

会計基準の国際化が進展する中、英語で簿記・会計基準を理解する必要性が高まっています。簿記・会計基準を英語で理解するための基礎知識を講義および演習を通じて理解することを目的とします。英文会計の基礎を理解し、英語で帳簿を作成・説明できるようにします。■受講生は、下記書籍を購入して持参してください。◎東京商工会議所編「国際会計検定 BATIC Subject 1 公式テキスト(新版)-英文簿記」中央経済社、2,970円 ◎東京商工会議所編「国際会計検定 BATIC Subject 1 問題集(新版)-英文簿記」中央経済社、2,268円

- 【受講をおすすめしたい方】
- 英語で簿記を勉強したいと考えている初学者の方でコンパクトにその内容を理解したいと考えている方
 - ある程度簿記については知識があるが、それらの知識を英語で理解を深めたいと思っている方
 - BATIC(国際会計検定) Subject1(英文簿記)の受験を考えている方



- 6/2(日) 簿記の基本概念、取引と仕訳
- 6/16(日) 仕訳帳と元帳、試算表、決算修正仕訳
- 6/23(日) 棚卸資産と売上原価の会計処理、精算表と連結仕訳、財務諸表
- 6/30(日) 基本的前提とGAAP、財務諸表分析、内部統制

5 会社税務の基礎 (法人税・消費税)
7月2日～7月23日 [毎週火曜日/全4回]
18:30～21:00

企業が経理業務をすすめていくためには、税法の知識が不可欠です。本講座は、経理業務に必要な法人税と消費税の基礎的な知識について、実務的に理解していただくことを目的としています。法人税では、所得金額や税額の計算のしくみ、売上などの収益・営業経費・人件費・固定資産等に関する法人税の取扱い、申告・納税の手続等を解説します。また、法人税と同様に企業利益に課税する住民税や事業税についても概要を説明します。消費税では、消費税の計算のしくみ、消費税の課税対象、非課税取引の内容、申告・納税の手続等について解説します。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 経理業務に携わっていて、税務の知識を得たいと思っておられる方
 - これから経理業務に携わると予定の方で、税務の知識を持っておきたいと思っておられる方(簿記の基礎的な知識は必要です)
 - 監査部門等の方で、税務の知識を必要とされている方(簿記の基礎的な知識は必要です)



- 7/2(火) 法人税の実務(1)
- 7/9(火) 法人税の実務(2)
- 7/16(火) 法人税の実務(3)、消費税の実務(1)
- 7/23(火) 消費税の実務(2)

6 経営学入門 ー会計・財務の学びのためにー
7月21日(日)・28日(日) [2日間]
10:30～13:00/14:00～16:30

経営学の基礎知識を幅広く体系的に学んでいき、特に会計や財務の学習に役立つように学んでいきます。まず経営学の基礎概念を体系的に説明し、その上で管理会計やファイナンスなどのつながりをイメージできるようにします。さらに新聞の経営記事を読んだらいいか解説します。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 経営学を体系的に知識整理したい方
 - 経営学の知識と会計学や財務論の知識をつなげて知識整理したい方
 - 経営学の知識を使った日経新聞の経営記事の読み方を習得したい方



- 7/21(日) 経営学の体系(1)
- 7/28(日) 経営学の体系(2)、経営学の歴史(1)
- 8/4(日) 経営学の体系(3)、経営学と財務管理
- 8/11(日) 経営学と新聞記事

7 社会人のための 経営管理会計エッセンス
9月8日(日)・15日(日) [2日間]
12:15～14:45/15:00～17:30

管理会計は、企業価値の増大に代表される業績向上を使命とする経営管理者に、優れたマネジメントを実現するための有用なツールを提供するアカウンティングの重要分野です。本講義では、財務諸表分析を皮切りに、予算や差額原価分析などの伝統的な管理会計技法から、バランスト・スコアカード、ABC/ABM、DCF法、EVA法といった近代的な管理技法までを多様に盛り込みながら、意思決定、利益管理、原価管理の区分に沿って、戦略的計画やマネジメント・コントロール、オペレーショナル・コントロールのための主要な理論と今日のテーマを抽出し、講義と演習を通じて平易に解説していきます。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 管理会計をこれから本格的に勉強したいと考えている初学者の方や、現在あるいは将来の管理職としての職務に役立てるべく今日の経営管理上の問題に関する理解を深めたいと考えている方など



- 9/8(日) 差額原価収益分析
- 9/8(日) 設備投資の経済性計算
- 9/15(日) 予算 vs バランスト・スコアカード(BSC)
- 9/15(日) 価値創造経営(VBM)

8 会社法入門 ー会計・監査の不正事件を踏まえてー
10月20日(日)・27日(日) [2日間]
12:15～14:45/15:00～17:30

会社法?気になるけれど、どこから勉強すればいいの、あるいはどうやって勉強すればいいのかわからないという方におすすめの講座です。会社法とは、会社の組織・運営・管理を定めている法律です。本講座では、一般のニュースとしても取り上げられた誰でも知っている株式会社の会計・監査に関する不正事件を紐解くことにより、会社法上定められている株式会社の組織・運営・管理の基礎を学びます。会社法の観点から、ガバナンスとファイナンスについて学んでみませんか?

- 【受講をおすすめしたい方】
- 会社法の学び方から知らない方
 - 会社法の基礎を短い時間で学びたい方
 - 会計・監査の不正事件と会社法との関係を知りたい方
 - 会社法を読みながら学びたい方
 - 判決文の読み方を学びたい方



- 10/20(日) 日産ゴーン事件から考えるガバナンス
- 10/20(日) 東芝不正会計事件から考えるガバナンス
- 10/27(日) 出光産止事件から考えるファイナンス
- 10/27(日) 長銀事件から考えるファイナンス

9 企業不祥事と 会計・監査の制度設計
1月12日(日)・19日(日) [2日間]
12:15～14:45/15:00～17:30

法曹界、とくに弁護士ドラマがテレビ番組で多く編成されているのは、時代を映し出しているのかも知れません。また、一語で事案が解決し、「水戸黄門」よろしく、終盤の爽快感が受けているとも言われます。企業小悪魔でも経営者の奮闘ぶりだけが、読み手になにかがのめるさや希望を与えてくれます。その一方で、公認会計士や監査役などが、そうした爽快感をもって、またになにかの明るさを与えるように描かれないのはなぜでしょうか。会計・監査は常にお金につきまとい、「お金は汚いもの」という幼少期の金銭教育の影響があるのかも知れません。本講座では、有価証券報告書の虚偽記載などの企業による不正や会計不正が露呈するたびに、会計・監査に対する会計士がにわかに悪くなり、経済の重要なインフラの一つであるはずの会計基準などを理解するためには、実は、こうした不正の本質とそれによる会計・制度設計について考えることが大切で、この講義は、会計・監査制度の制度設計が経営システムとしての役割をいかに果たしているかを、企業不祥事との関係から読み解き、解説します。

- 【受講をおすすめしたい方】
- 近年の会計基準等の成り立ちや会計・監査の制度設計の背景などの知識を深めたいと考えている方



- 1/12(日) 海外の企業不祥事と会計・監査(1)
- 1/12(日) 海外の企業不祥事と会計・監査(2)
- 1/19(日) 日本の企業不祥事と会計・監査(1)
- 1/19(日) 日本の企業不祥事と会計・監査(2)